

令和6年度 一般会計補正予算（第1号）

議会事務局 主要事業説明資料

予算科目	款	01 議会費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	議会事務局	
	項	01 議会費	99千円		14,069千円		14,168千円			課	議会総務課
	目	01 議会費									
	事業	50 議会一般経費									
総合計画 計画項目			30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源		
必要性	条例改正により、委員会へのオンライン出席が可能となり、オンライン出席に備えるため、Zoomライセンス経費を追加するもの。			主な財源							
事業概要	○ソフトウェア使用料 ・ZoomOneプロライセンス（3ライセンス） 常任委員会のオンライン会議で使用			99千円							

令和6年度 一般会計補正予算（第1号）

市長公室 主要事業説明資料

予算科目	款	02 総務費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	市長公室	
	項	01 総務管理費	1,499千円		10,955千円		12,454千円				
	目	02 職員管理費									
	事業	01 人事給与事務									
			国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源			
総合計画 計画項目		30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）								1,499	
必要性	人事制度の見直しや職場環境の充実を図るなど、日本一働きがいのある市役所づくりを推進するため、所要額を追加するもの。 また、給与人事システムを拡充し、業務効率の向上を図るため、所要額を追加するもの。			主な財源							
事業概要	○日本一働きがいのある市役所づくりの検討 職員によるワーキンググループを設置し、活き活きと働きがいのあるWell-beingな市役所づくりを進めるため、休暇制度をはじめとした人事制度改革などを検討 ・アドバイザー謝金 ・アドバイザー旅費 ・打合せに係る職員旅費等 （職員の旅費、駐車場使用料、有料道路通行料）			151千円							
	○給与人事システム負担金 年末調整申告システム導入費用 ※既存の給与人事システムを拡充し、職員の年末調整申告及び人事課の事務作業（申告内容の確認、控除額の計算、反映）をデジタル化			1,348千円							

予算科目	款	02 総務費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	市長公室	
	項	01 総務管理費	6,705千円		67,068千円		73,773千円			課	人事課
	目	02 職員管理費									
	事業	05 ふるさと創生職員制度推進事業							国庫支出金		
総合計画 計画項目		30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）								6,705	
必要性	京丹後市に帰ってきたい、地方での暮らしと仕事をしたいと考えている方々の受け皿として、U・Iターンの活性化、移住定住につなげるための任期付短時間勤務職員「ふるさと創生職員」の新規採用に係る経費を追加するもの。		主な財源								
事業概要	○ 令和6年度ふるさと創生職員 令和6年度採用3人（11月採用予定） 任期：3年間、勤務：週3～4日 ※これまでの運用に見直しを加え、任用2年目以降には必要に応じ関係団体等への派遣も視野に入れるなど任期満了後の定住に向けたサポート体制を強化			6,705 千円	令和6年度募集する業務分野（想定） ・ 移住定住・空家利活用の促進 ・ 新たな公共交通導入による地域の活性化 ・ 活き活きと働きたいのあるWell-beingな市役所づくり ※現在任用中のふるさと創生職員：15人（R6.6.10現在）						
	・ 給料 ・ 職員手当（通勤手当、期末・勤勉手当等） ・ 共済組合負担金、社会保険料、雇用保険料等 ・ 職員採用委託料（専用サイト修正・管理、広報等） ・ 住居借上げ補助金			3,634 千円 661 千円 798 千円 1,276 千円 336 千円							

予算科目	款	02 総務費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	市長公室		
	項	01 総務管理費	8,000千円		10,130千円		18,130千円					
	目	09 企画費										
	事業	04 韓哲・まちづくり夢基金事業							国庫支出金	府支出金	市債	繰入金
総合計画 計画項目		21 市民参画・協働によるまちづくり				8,000				0		
必要性	韓哲・まちづくり夢基金事業補助金について、申請件数が増加する見込みのため、所要額を追加するもの。		主な財源	繰入金 韓哲・まちづくり夢基金繰入金 8,000								
事業概要	○韓哲・まちづくり夢基金事業補助金 8,000千円 補助率：事業費の2/3以内（上限1,000千円/件） ※教育、文化、芸術又はスポーツの振興に関する分野の非営利事業は10/10以内 執行見込額 18,000千円（申請見込18件） 予算現額 10,000千円（上限1,000千円×10件分） 補正額 8,000千円											

予算科目	款	02 総務費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	市長公室	
	項	01 総務管理費	302千円		1,135千円		1,437千円				
	目	09 企画費									
	事業	05 総合計画・総合戦略推進事業							国庫支出金	府支出金	市債
総合計画計画項目		29 幸福度指標を活用した施策点検								302	
必要性	第3次京丹後市総合計画の策定に向け、次代を担う若者や女性の意見を聴取するため、所要額を追加するもの。		主な財源								
事業概要	○まちづくりワークショップ開催経費		302千円								
	開催時期：9月～10月 開催回数：3回（高校生、若者、女性） ・ワークショップアドバイザー謝金 大学教授（14千円×1人×3回） 審議会委員（4千円×2人×3回） ・ワークショップ参加者謝金 （4千円×延べ40人） ・費用弁償 （ワークショップアドバイザー、参加者）		42千円 24千円 160千円 76千円								

予算科目	款	02 総務費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	市長公室	
	項	01 総務管理費	30,000千円		884,179千円		914,179千円			課	ふるさと応援推進課
	目	09 企画費									
	事業	07 ふるさと応援寄附金推進事業									
総合計画 計画項目			30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源		
必要性	本市の認定地域再生計画に基づく地域活性化を図ることを目的に、企業版ふるさと納税を活用し、事業者の主体的な地域活性化に資する活動を促進する補助制度を創設するため、所要額を追加するもの。			主な財源	寄附金 ふるさと応援寄附金 30,000						
事業概要	○地域活性化推進事業補助金（企業版ふるさと納税活用型） 30,000千円 補助金額：30,000千円(想定寄附額)×10/10(補助率)=30,000千円 ※想定寄附額：30,000千円 （寄附目標額 10,000千円の事業×3事業と仮定） ＜地域活性化推進事業補助金の概要＞ 本市の認定地域再生計画に基づく地域活性化を目的に、企業版ふるさと納税を活用し、事業者等が有する専門性及び人的資源を活用した主体的な地域活性化に資する活動を促進するため、企業版ふるさと納税を財源とした補助金を交付するもの。				【補助率】 ・補助対象経費の範囲内で、補助事業に対する企業版ふるさと納税の寄附金額の10/10 【補助対象者】 ・市の地域活性化を目的とする事業を実施する者 【補助対象事業】 ①市の地域活性化を目的とする事業（認定地域再生計画に資する事業） ②企業版ふるさと納税で財源が確保された事業 【補助対象経費】 ・租税公課/交際費/慶弔費/親睦会費/福利厚生費/寄附金/減価償却費などを除く、補助対象事業の実施に要する経費 【事業スキーム】 ①事業提案の公募、事業採択 ②採択事業に対する企業版ふるさと納税の公募 ③寄附目標額に達した事業に対し補助金交付 ④採択事業の実施 ※原則、補助金は寄附目標額に達した事業へ交付。 目標額未達の場合は交付せず、その際の寄附金は、他の認定地域再生計画事業に充当						

予算科目	款	02 総務費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	市長公室	
	項	01 総務管理費	340千円		43,435千円		43,775千円				
	目	09 企画費									
	事業	08 ふるさとブランド 推進事業							国庫支出金	府支出金	市債
総合計画 計画項目	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）									340	
必要性	ふるさと産品の創出・増産等の取り組み等、ふるさと納税の寄附額拡大の取り組みに対して、先進自治体からの助言等を受けるため、所要額を追加するもの。		主な財源								
事業概要	○費用弁償 ふるさと納税寄附推進アドバイザー旅費（2人、6回） 新たなふるさと産品の創出を支援する「京丹後市ふるさと産品創出支援事業」や、生産・製造・加工等の強化を支援する「京丹後市ふるさと産品生産等強化支援事業」等ふるさと納税寄附額拡大の取り組みを効果的に実施するため、先進自治体である泉佐野市から、事業者等への助言・指導を求めるもの。 ※7月～12月の期間に月1回（1泊2日）を想定		340千円								

予算科目	款	02 総務費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	市長公室						
	項	01 総務管理費	396千円		0千円		396千円									
	目	09 企画費														
	事業	12 都市拠点等整備推進事業														
総合計画 計画項目			12 快適な都市空間の形成		国庫支出金		府支出金		市債		繰入金		その他		一般財源	
														396		
必要性	公共施設の整備・運営などの行政課題、地域課題の解決に向け、新たな公民連携の手法を研究し、導入に向けた検討を進めるため、所要額を追加するもの。					主な財源										
事業概要	○公民連携アドバイザー経費（1人、1回）					101千円										
	・アドバイザー謝金					50千円										
	・旅費（費用弁償）					51千円										
	○公民連携検討経費					295千円										
	・旅費（職員旅費）					194千円										
	・研修負担金					35千円										
	・その他視察経費（有料道路通行料、燃料費）					66千円										

予算科目	款	02 総務費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	市長公室		
	項	01 総務管理費	3,555千円		1,299千円		4,854千円					
	目	09 企画費										
	事業	13 SDGs推進事業							国庫支出金	府支出金	市債	繰入金
総合計画 計画項目		30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）				555			3,000			
必要性	令和6年3月に策定した京丹後市万博ロードマップに基づき、大阪・関西万博に向けた機運醸成を図るとともに、万博を契機として2030年を目標年次とするSDGsの達成に向けた取組を加速させるための取組を実施するに当たり、所要額を追加するもの。		主な財源	繰入金 韓哲・まちづくり夢基金繰入金 555								
事業概要	○丹後万博の開催経費（実行委員会補助金） 3,000千円 「EXPO for SDGs」を掲げる大阪・関西万博に向けて機運醸成を図るため、将来世代（高校生等）が中心となって企画・運営するSDGsの祭典「丹後万博」の開催支援 ※10月下旬、丹後王国「食のみやこ」にて開催予定											
	○「若者発！SDGs共創プロジェクト」の実施経費 555千円 令和4年3月に締結した一般社団法人Sustainable Gameとの包括連携協定に基づき、中高生が社会課題を発見し、主体的に解決策を考える教育プログラム（出前講座）を実施するための委託経費 ※8月以降、計3回開催予定											

予算科目	款	02 総務費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	市長公室
	項	01 総務管理費	4,574千円		0千円		4,574千円			
	目	09 企画費								
	事業	15 京丹後市制20周年記念事業							国庫支出金	府支出金
総合計画 計画項目		21 市民参画・協働によるまちづくり								4,574
必要性	京丹後市が歩んできた20年間を市民と共に振り返るとともに、令和6年度を更なる飛躍・発展に向け将来を展望していく記念の年とするため、市制20周年記念式典の開催経費、記念誌作成に係る経費を追加するもの。		主な財源							
事業概要	○市制20周年記念PR 【担当：政策企画課】		385千円	＜市制20周年記念PR＞						
	・PRのぼり旗（350本）		385千円	各庁舎や関連事業会場等にのぼり旗を設置してPRする（関連事業例）						
	○市制20周年記念式典 【担当：秘書広報広聴課】		1,927千円	NHKのどじまん / 旧久美浜町埋設タイムカプセル開封式 / 丹後古代の里資料館記念展示 / 京丹後長寿研究報告会 / こども能・おもしろ能楽講座 / 能・狂言講演（仮称） / 丹後万博 / 一日こども広場 / 田中彩子記念リサイタル / はたちを祝う式典 / 京丹後プレミアムデジタル商品券発行 / 野村克也メモリアル事業〔講演会〕 / ガンダムマンホールカード配布 など						
	・出演者等謝金（司会者、出演者、要約筆記）		420千円	＜市制20周年記念式典の概要（案）＞						
・事務用品、式典次第印刷代等		595千円	日 時：令和6年11月3日（日・祝）							
・招待状郵送料等		186千円	場 所：丹後文化会館							
・会場借上料、会場設営委託料		726千円	案内規模：800人程度							
○市制20周年記念誌作成 【担当：秘書広報広聴課】		2,262千円	内 容：オープニング、国歌・市歌斉唱、式辞、祝辞							
・会計年度任用職員任用経費（1人）		2,262千円	自治功労者等表彰、特別企画（ステージイベント等）							
			【参考：市制20周年記念誌の想定（案）】							
			概 要：A4・フルカラー・64～80ページ程度・1,000冊							
			発行時期：令和7年度末（予定）							
			配 布 先：各種関係機関、市内各市民局、図書館（室） 等							

必要性	京丹後市が歩んできた20年間を市民と共に振り返るとともに、令和6年度を更なる飛躍・発展に向け将来を展望していく記念の年とするため、市制20周年記念式典の開催経費、記念誌作成に係る経費を追加するもの。	主な財源	
-----	---	------	--

事業概要	○市制20周年記念PR 【担当：政策企画課】	385千円	＜市制20周年記念PR＞
	・PRのぼり旗（350本）	385千円	各庁舎や関連事業会場等にのぼり旗を設置してPRする（関連事業例）
	○市制20周年記念式典 【担当：秘書広報広聴課】	1,927千円	NHKのどじまん / 旧久美浜町埋設タイムカプセル開封式 / 丹後古代の里資料館記念展示 / 京丹後長寿研究報告会 / こども能・おもしろ能楽講座 / 能・狂言講演（仮称） / 丹後万博 / 一日こども広場 / 田中彩子記念リサイタル / は
	・出演者等謝金（司会者、出演者、要約筆記）	420千円	たちを祝う式典 / 京丹後プレミアムデジタル商品券発行 / 野村克也メモリアル事業【講演会】 / ガンダムマンホールカード配布 など
	・事務用品、式典次第印刷代等	595千円	
	・招待状郵送料等	186千円	＜市制20周年記念式典の概要（案）＞
	・会場借上料、会場設営委託料	726千円	日 時：令和6年11月3日（日・祝）
			場 所：丹後文化会館
			案内規模：800人程度
			内 容：オープニング、国歌・市歌斉唱、式辞、祝辞
			自治功労者等表彰、特別企画（ステージイベント等）
	○市制20周年記念誌作成 【担当：秘書広報広聴課】	2,262千円	
	・会計年度任用職員任用経費（1人）	2,262千円	【参考：市制20周年記念誌の想定（案）】
			概 要：A4・フルカラー・64～80ページ程度・1,000冊
			発行時期：令和7年度末（予定）
			配 布 先：各種関係機関、市内各市民局、図書館（室） 等

予算科目	款	02 総務費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	市長公室	
	項	01 総務管理費	23,323千円		4,485千円		27,808千円			課	政策企画課
	目	09 企画費									
	事業	50 企画一般経費									
			国庫支出金	府支出金	市債		繰入金		その他		
総合計画 計画項目		30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）									23,323
必要性	職員政策提言プロジェクトの実施経費及びデジタルを活用した市民参加手法の検討経費を追加するもの。 また、令和5年度国庫支出金について、実績により返還する必要があるため、所要額を追加するもの。			主な財源							
事業概要	○「職員政策提言プロジェクト」実施経費 315千円 市民ニーズや社会的な要請の変化に迅速に対応し、様々な課題を解決するため、若手職員を中心に柔軟で斬新な発想を積極的に取り入れ、新たな取組を提言するプロジェクト。 ・政策形成研修に係る講師謝金等 208千円 講師謝金、費用弁償（1人×3回） 158千円 先進地視察謝金（10千円×5グループ） 50千円 ・職員旅費等（情報収集、外部機関等との意見交換等） 107千円 ○デジタルを活用した市民参加手法の検討経費 19千円 市民参加によるまちづくりを推進するため、デジタルプラットフォームづくりを検討する。 ・先進地視察経費（加古川市） 19千円				○令和5年度国庫支出金返還金【生活福祉課】 22,989千円 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 受 入 済 額 163,154千円 実 績 額 140,165千円 返 還 額 22,989千円 ※住民税非課税世帯等臨時特別給付金に係る給付費及び事務費について実績に基づき返還を行うもの。						

予算科目	款	02 総務費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	市長公室		
	項	01 総務管理費	1,940千円		35,387千円		37,327千円			課	地域コミュニティ推進課	
	目	10 移住・定住推進費										
	事業	01 地域おこし協力隊活動事業										
総合計画 計画項目			21 市民参画・協働によるまちづくり		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源		
										1,940		
必要性	人口減少や高齢化が進む中、地域外の人材を誘致し、地域の再生・活性化に向けた活動により、地域力の維持・強化を図るため、地域おこし協力隊員の委託経費を追加するもの。				主な財源							
事業概要	○地域おこし協力隊（委託型 1人）業務委託料				1,500千円		○クラウドサービス利用料（8か月分）					440千円
	主な活動地域		所管課		区分	任用始期		移住希望者が登録するポータルサイト等で、新規隊員の募集情報を発信することにより、京丹後市への定住意欲を持った人材の確保に繋げる。				
	弥栄町野間地域		地域コミュニティ推進課		新規	令和6年11月～						
	(参考)											
	・京丹後市の現在の隊員数は15人、うち委託型隊員は10人 ・委託型隊員のうち、新たな地域コミュニティへの配置は4人。 （島津地域、久美浜一区地域、間人地域、吉野地域）											

予算科目	款	02 総務費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	市長公室	
	項	01 総務管理費	27,500千円		30,174千円		57,674千円			課	政策企画課
	目	10 移住・定住推進費									
	事業	02 移住促進・空家改修支援事業									
			国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源			
総合計画 計画項目			14 安全でうるおいのある住環境の形成			9,150					18,350
必要性	移住促進・空家改修支援事業補助金について、申請件数が増加する見込みのため、所要額を追加するもの。		主な財源	府補 移住促進事業費補助金 9,150							
事業概要	○移住促進・空家改修支援事業補助金（補助率：10/10） 27,500千円										
	・移住促進住宅整備事業（空家改修補助） 執行見込額 45,700千円（府補助分15件、市単独分8件） 予算現額 18,500千円（府補助分5件、市単独分5件） 補正額 27,200千円（府補助分10件、市単独分3件） ※府補助分上限額：2,300千円、市単独分上限額1,400千円 ・空家流動化促進事業（所有者家財撤去費補助） 執行見込額 450千円（府補助分4件、市単独分1件） 予算現額 150千円（府補助分1件、市単独分1件） 補正額 300千円（府補助分3件） ※府補助分上限額：100千円、市単独分上限額50千円										

予算科目	款	02 総務費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	市長公室		
	項	01 総務管理費	468千円		7,295千円		7,763千円					
	目	10 移住・定住推進費										
	事業	05 空家利活用推進事業							国庫支出金	府支出金	市債	繰入金
総合計画 計画項目		14 安全でうるおいのある住環境の形成								468		
必要性	「（仮称）空家等利活用推進検討会」を新たに設置し、二地域居住や事業用途での活用も含めた空家活用のための方策等を検討し、広く発信することで、空家の流通と活用を促すため、所要額を追加するもの。		主な財源									
事業概要	○「（仮称）空家等利活用推進検討会」経費		368千円									
	空家等を地域の資源と捉え、関係機関等と連携し、リノベーションやコンバージョン（用途変更）も含めた空家活用に係る事例研究や活用促進策についての検討を行う。											
	・アドバイザー謝金（1人、3回）		42千円									
	・委員謝金（12人、3回）		144千円									
		・費用弁償		99千円								
		・職員旅費		83千円								
		○空家等利活用に係る啓発媒体（パンフレット等）作成経費		100千円								

予算科目	款	02 総務費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	市長公室													
	項	01 総務管理費	5,000千円		24,632千円		29,632千円			課	地域コミュニティ推進課												
	目	13 地域自治推進費																					
	事業	02 コミュニティ支援事業																					
			国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源															
総合計画 計画項目	21 市民参画・協働によるまちづくり						5,000	0															
必要性	一般財団法人自治総合センターが実施する自治宝くじコミュニティ助成事業（一般コミュニティ事業）に採択されたため、所要額を追加するもの。		主な財源	諸収入 自治宝くじコミュニティ助成金 5,000																			
事業概要	○自治宝くじコミュニティ助成金 5,000千円 (単位：千円)																						
	<table><tr><td>事業実施団体</td><td>事業内容</td><td>事業費</td><td>助成金額</td></tr><tr><td>久美浜町 川上地区自治振興会</td><td>コミュニティ備品整備 (パソコン、テーブルほか)</td><td>2,652</td><td>2,500</td></tr><tr><td>弥栄町 芋野区</td><td>コミュニティ備品整備 (除雪機、冷蔵庫ほか)</td><td>2,502</td><td>2,500</td></tr></table>											事業実施団体	事業内容	事業費	助成金額	久美浜町 川上地区自治振興会	コミュニティ備品整備 (パソコン、テーブルほか)	2,652	2,500	弥栄町 芋野区	コミュニティ備品整備 (除雪機、冷蔵庫ほか)	2,502	2,500
	事業実施団体	事業内容	事業費	助成金額																			
	久美浜町 川上地区自治振興会	コミュニティ備品整備 (パソコン、テーブルほか)	2,652	2,500																			
弥栄町 芋野区	コミュニティ備品整備 (除雪機、冷蔵庫ほか)	2,502	2,500																				

予算科目	款	02 総務費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	市長公室	
	項	01 総務管理費	2,924千円		56,245千円		59,169千円			課	地域コミュニティ推進課
	目	13 地域自治推進費									
	事業	03 新たな地域コミュニティ推進事業							国庫支出金		
総合計画計画項目		21 市民参画・協働によるまちづくり				2,860		64			
必要性	新たな地域コミュニティ組織同士がオンライン上で日常的に交流し学び合える仕組みを構築するため、所要額を追加するもの。 また、ふるさと納税を活用して寄附金を募った地域プロジェクトに対して、寄附金を財源とした補助金を交付するため、所要額を追加するもの。		主な財源	繰入金	まち・ひと・しごと創生基金繰入金						2,800
				繰入金	ふるさと応援基金繰入金						60
事業概要	○ネットワーク構築事業 64千円 ・ビジネスチャットツールゲストアカウント利用料 新たな地域コミュニティ推進組織(STEP2以上)：24組織分 ・すでに本市職員が業務で利用しているビジネスチャットツールを活用し、新たな地域コミュニティ組織同士がオンライン上で日常的に交流し学び合える仕組みを構築することで、地域の自発的な活動の活性化につなげる。 ・地域共生ステーション（市民局、地域公民館、社会福祉協議会）と新たな地域コミュニティ組織とのやり取りにチャットを導入することにより、地域活動をきめ細く支援する。 ※想定スケジュール 8月：運用開始（R7年3月末までの8か月間）		○ふるさと納税活用型地域プロジェクト事業補助金 2,860千円 ・久美浜一区自治会（秋祭り継承、子育て支援等） 100千円 ・久美浜二区振興会（コミュニティビジネス事業等） 102千円 ・佐濃自治会（移住促進事業、子育て支援等） 109千円 ・野間連合区（高齢者移動支援、魅力発信事業等） 2,500千円 ・島津地域（移住促進事業、子育て支援等） 49千円 令和6年1月1日から3月31日に地域版ふるさと納税（個人及び企業）で受けた寄附金を財源に、指定のあった地域プロジェクトに対して補助金を交付する。								

予算科目	款	02 総務費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	市長公室	
	項	01 総務管理費	671千円		17,472千円		18,143千円				
	目	13 地域自治推進費									
	事業	06 集会施設等指定管理施設運営事業							国庫支出金	府支出金	市債
総合計画 計画項目		21 市民参画・協働によるまちづくり								671	
必要性	指定管理施設のエアコンが故障し修理不可能なことから、更新するための所要額を追加するもの。		主な財源								
事業概要	○工事請負費		671千円								
			(単位：千円)								
	対象施設	事業内容	事業費								
	久美浜農業センター	1階和室エアコン更新（1台）	451								
	久美浜健康センター	1階和室エアコン更新（1台）	220								

予算科目	款	02 総務費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	市長公室	
	項	01 総務管理費	341千円		20,511千円		20,852千円				
	目	15 公共交通対策費									
	事業	03 市営バス運行事業							国庫支出金	府支出金	市債
総合計画 計画項目		15 ひとが行き交う公共交通の充実								341	
必要性	本年度更新するバス車両の年度内の納入が困難と見込まれるため、既存車両の車検費用を追加し、対応するもの。		主な財源								
事業概要	○バス車両車検費用（修繕料、保険料など） 佐濃北線（やまばと号） 初回登録月：平成24年1月		341千円								
	※令和6年度当初予算に計上した車両更新経費 5,593千円は 令和7年度への繰越明許費を設定（完了予定：令和7年9月）										

予算科目	款	02 総務費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	市長公室	
	項	01 総務管理費	608千円		4,444千円		5,052千円				
	目	15 公共交通対策費									
	事業	50 交通対策一般経費							国庫支出金	府支出金	市債
総合計画 計画項目		15 ひとが行き交う公共交通の充実								608	
必要性	人口減少による利用者減、運転士不足など公共交通をとりまく環境が大きく変化する中、多様な交通手段を検討し、持続可能な公共交通網を構築するための検討経費及び運転士不足によるバス路線再編に関する周知に必要な所要額を追加するもの。		主な財源								
事業概要	○市地域公共交通活性化協議会 専門部会開催経費 交通事業者を中心とした専門部会を設置し、持続可能な公共交通網を検討する。 ・委員謝金、費用弁償 ※委員7人 5回（うち、1回アドバイザー参加）		195千円								
	○先進視察経費（職員旅費、有料道路通行料、資料代など） ライドシェアや自動運転バス、デュアルモードビークルなど既存交通を補完する多様な交通手段等の活用に向け、研究・検討を行う。 ※ライドシェア 一般ドライバーがアプリなどを活用し自家用車で行う有償運送 ※デュアル・モード・ビークル（DMV） 乗り換えなしでバス（道路）や鉄道（レール）の両方を利用できる車両 ○公共交通ガイドブック 臨時発行経費		179千円 234千円								

令和6年度 一般会計補正予算（第1号）

総務部 主要事業説明資料

予算科目	款	02 総務費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	総務部	
	項	01 総務管理費	289千円		285千円		574千円				
	目	01 一般管理費									
	事業	06 行財政改革推進費							国庫支出金	府支出金	市債
総合計画 計画項目		30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）								289	
必要性	国・府補助金の更なる活用や地方交付税制度の理解を深めるなど、持続可能な財政基盤の構築を目指す「財政強靱化戦略」（仮称）の策定に必要な所要額を追加するもの。		主な財源								
事業概要	○財政強靱化戦略会議経費		289千円								
	・アドバイザー謝金（1人、2回）		100千円								
	・アドバイザー費用弁償		106千円								
	・職員旅費		83千円								

予算科目	款	02 総務費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	総務部	
	項	01 総務管理費	2,259千円		171,351千円		173,610千円				
	目	01 一般管理費									
	事業	50 一般管理一般経費									
			国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源			
総合計画 計画項目			30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）								2,259
必要性	峰山市民局事務を円滑に進めるため、会計年度任用職員の任用経費を追加するもの。		主な財源								
事業概要	○会計年度任用職員任用経費【峰山市民局】 事務補助員1人 任用期間：令和6年7月～令和7年3月（9か月） ・報酬、職員手当、社会保険料等 ※令和6年4月～6月は人事課の既決予算にて執行		2,259千円								

予算科目	款	02 総務費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	総務部
	項	01 総務管理費	145,115千円		146,360千円		291,475千円			
	目	11 ICT等推進費								
	事業	01 行政情報システム運営事業								
総合計画 計画項目			17 未来都市の実現に向けた情報基盤の整備		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
必要性	地方公共団体情報システムの標準化に関する法律により、地方公共団体情報システムを標準準拠システムへ令和7年度末までの移行を目指すこととなっている。 国が整備するガバメントクラウド上に標準化対象の業務システムを構築し、標準準拠システムへ移行するために必要な経費を追加するもの。		主な財源	諸収入 デジタル基盤改革支援補助金 121,031						
事業概要	○ガバメントクラウド接続回線経費 3,090千円 ガバメントクラウドの住民情報システムに接続するための通信経費				○NewTRY-X/Ⅱ標準化移行負担金 133,522千円 住民情報システムの標準化準拠システムへの移行に関する経費（一般会計分） ※標準化対象事務 児童手当、住民基本台帳、戸籍の附票、印鑑登録、選挙人名簿管理、固定資産税、個人住民税、法人住民税、軽自動車税、戸籍、就学、国民健康保険、国民年金、障害者福祉、後期高齢者医療、介護保険、生活保護、健康管理、児童扶養手当、子ども・子育て支援					
	○ガバメントクラウドネットワーク運用補助経費等 8,503千円 ガバメントクラウドを利用・運用管理するためのサポート経費 ※ガバメントクラウドとは 地方自治体の標準準拠システムを、統一されたクラウド上に集約したうえで、利用・運用管理できるよう、国が整備したサービス利用環境				（参考） ・国民健康保険事業特別会計 11,597千円 ・後期高齢者医療事業特別会計 4,348千円 ・介護保険事業特別会計 11,597千円 ・水道事業会計 5,617千円 ・下水道事業会計 2,734千円					

予算科目	款	02 総務費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	総務部	
	項	01 総務管理費	6,143千円		12,989千円		19,132千円				
	目	11 ICT等推進費									
	事業	04 デジタル戦略推進事業		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源		
総合計画 計画項目		17 未来都市の実現に向けた情報基盤の整備								6,143	
必要性	全庁横断的なデジタル戦略のもと、専門機関の支援を受け市役所業務の見直しを推進し、RPA等を活用した業務効率化に取り組むための所要額を追加するもの。 また、オンライン申請の拡充により、更なる市民サービスの利便性向上を図るため、所要額を追加するもの。		主な財源								
事業概要	○デジタル戦略推進経費		5,747千円								
	・デジタル戦略推進業務委託料		4,000千円								
	・RPAシナリオ作成支援等委託料（2業務分）		1,747千円								
	○オンライン申請システム運用経費		396千円								
		利用可能フォーム数の拡大（21手続き→上限なし）									

予算科目	款	02 総務費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	総務部	
	項	04 選挙費	20千円		1,034千円		1,054千円				
	目	01 選挙管理委員会費									
	事業	01 選挙管理委員会経費							国庫支出金	府支出金	市債
総合計画 計画項目		30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）								20	
必要性	選挙管理委員会委員の改選に伴い、委員長分の報酬に不足が生じるため、所要額を追加するもの。		主な財源								
事業概要	○選挙管理委員会委員報酬 執行見込額 692千円 （20千円×13か月+12千円×12か月×3人） 予算現額 672千円 （20千円×12か月+12千円×12か月×3人） <u>補正額 20千円</u> ※委員長報酬：月額20千円・委員報酬：月額12千円		20千円								

予算科目	款	09 消防費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	総務部	
	項	01 消防費	34千円		27,913千円		27,947千円				
	目	04 災害対策費									
	事業	50 災害対策一般経費							国庫支出金	府支出金	市債
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実									34	
必要性	デジタル技術を活用した防災情報伝達手段の多様化を図ることを目的に、新たな防災情報発信ツールとして「防災総合アプリ」の導入を検討するため、所要額を追加するもの。		主な財源								
事業概要	○防災総合アプリ視察経費		34千円								
	・職員旅費（4人×2自治体）		14千円								
	・有料道路通行料		20千円								
	※視察先：日本海側の自治体及び近畿圏内の自治体を予定										

令和6年度 一般会計補正予算（第1号）

市民環境部 主要事業説明資料

予算科目	款	02 総務費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	市民環境部	
	項	03 戸籍住民基本台帳費	26,387千円		13,571千円		39,958千円				
	目	01 戸籍住民基本台帳費									
	事業	02 戸籍電算システム運用事業							国庫支出金	府支出金	市債
総合計画項目	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）							24,442		1,945	
必要性	戸籍情報システム及び戸籍附票システムについて、オンプレミス（自庁設置方式）からクラウドサービスに移行すると同時に、標準化対応システムへの更新を行うため、所要額を追加するもの。		主な財源	諸収入 デジタル基盤改革支援補助金 24,442							
事業概要	○委託料 25,762千円 ・システム更新委託料										
	○使用料及び賃借料 625千円 ・クラウドサービス利用料										

予算科目	款	02 総務費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	市民環境部	
	項	03 戸籍住民基本台帳費	8,901千円		37,400千円		46,301千円				
	目	01 戸籍住民基本台帳費									
	事業	50 戸籍住民基本台帳一般経費							国庫支出金	府支出金	市債
総合計画 計画項目	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		6,519							2,382	
必要性	マイナンバーカードの更なる普及促進、また、窓口業務を円滑に進めるため、会計年度任用職員の任用経費を追加するもの。		主な財源	国補 マイナンバーカード 交付事務費補助金 6,519							
事業概要	○会計年度任用職員任用経費 報酬、職員手当、共済費等 ・マイナンバーカード交付事務補助員（2人） 任用期間：令和6年4月～令和7年3月（12か月） ※令和6年4月～6月分は既決予算にて執行 ・戸籍住民基本台帳事務補助員（1人） 任用期間：令和6年7月～令和7年3月（9か月） ※令和6年4月～6月分は人事課の既決予算にて執行		8,901千円								

予算科目	款	03 民生費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	市民環境部	
	項	01 社会福祉費	1,078千円		555千円		1,633千円				
	目	01 社会福祉総務費									
	事業	07 男女共同参画推進事業							国庫支出金	府支出金	市債
総合計画 計画項目		23 男女共同参画社会の構築								1,078	
必要性	第三次男女共同参画計画の策定にあたり、市民及び市内事業所の意識調査及び実態調査を実施し、計画策定に必要とするデータの収集・分析を行うため、所要額を追加するもの。		主な財源								
事業概要	○委託料 ・調査委託料 （市民対象アンケート約1,000件分、事業所対象アンケート約100件分）		1,078千円								

予算科目	款	03 民生費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	市民環境部	
	項	01 社会福祉費	321千円		83,830千円		84,151千円				
	目	05 福祉医療費							課	保険事業課	
	事業	02 重度心身障害老人健康管理事業									
総合計画項目			09 地域包括医療・ケア体制の充実	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源		
					158				163		
必要性	重度心身障害老人の健康の保持増進を図るため、重度心身障害老人健康管理事業について、精神障害者保健福祉手帳所持者を助成対象に加えるため、所要額を追加するもの。			主な財源	府補 重度心身障害老人健康管理事業費補助金 158						
事業概要	○重度心身障害老人健康管理事業補助金 315千円 〈府制度〉 精神障害者保健福祉手帳所持者を追加（令和6年8月診療分から適用） 後期高齢者医療制度に該当される方 （75歳以上の方及び65歳から74歳までの一定の障害のある方） ・精神障害者保健福祉手帳1級 ・精神障害者保健福祉手帳再認定で1級から2級へ変更となった方 再認定後の有効期限内（2年間） ・精神障害者保健福祉手帳2級で I Qが概ね50以下の方 対象者（見込み）：令和6年4月1日現在 ・精神障害者保健福祉手帳1級 8人 ・精神障害者保健福祉手帳2級 0人				○審査支払手数料（京都府国民健康保険団体連合会） 3千円 ○医療費給付事務費 3千円 ・通信運搬費						

予算科目	款	03 民生費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	市民環境部	
	項	01 社会福祉費	2,708千円		120,475千円		123,183千円				
	目	05 福祉医療費							課	保険事業課	
	事業	03 重度心身障害者医療事業									
総合計画 計画項目		09 地域包括医療・ケア体制の充実		1,349						1,359	
必要性	重度心身障害者の健康の保持増進を図るため、重度心身障害者医療事業について、精神障害者保健福祉手帳所持者を助成対象に加えるため、所要額を追加するもの。		主な財源	府補 障害者医療助成事業費補助金 1,349							
事業概要	○重度心身障害者医療給付費 2,676千円 ＜府制度＞ 精神障害者保健福祉手帳所持者を追加（令和6年8月診療分から適用） 後期高齢者医療制度に該当しない方 ・精神障害者保健福祉手帳1級 ・精神障害者保健福祉手帳再認定で1級から2級へ変更となった方 再認定後の有効期限内（2年間） ・精神障害者保健福祉手帳2級でⅠQが概ね50以下の方 対象者（見込み）：令和6年4月1日現在 ・精神障害者保健福祉手帳1級 18人 ・精神障害者保健福祉手帳2級 11人			○審査支払手数料（京都府国民健康保険団体連合会） 24千円 ○医療費給付事務費 8千円 ・通信運搬費							

予算科目	款	04 衛生費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	市民環境部	
	項	01 保健衛生費	250千円		732千円		982千円				
	目	07 環境衛生費									
	事業	01 狂犬病予防・動物管理事業									
総合計画 計画項目		05 次世代への美しい自然環境の継承	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源	250		
必要性	市内に生息する飼い主のいない猫の繁殖を抑制し、市民の動物愛護と適正な管理に関する意識を啓発するとともに、猫による被害等を軽減し、市民の快適な生活環境を保持するため、所要額を追加するもの。		主な財源								
事業概要	○飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費補助金 市内に生息する飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費を支援 5千円 × 50頭 = 250千円 ＜補助対象者＞ 動物病院等へ猫を持参して手術を受けさせることができる、18歳以上の市内に住所を有する人、または市内で活動する団体 ＜補助対象の猫＞ 概ね生後6か月以上の飼い主のいない猫		250千円								

予算科目	款	04 衛生費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	市民環境部	
	項	01 保健衛生費	33,036千円		60,265千円		93,301千円				
	目	07 環境衛生費									
	事業	09 脱炭素社会推進事業							国庫支出金	府支出金	市債
総合計画 計画項目		06 脱炭素型社会の構築と気候変動への適応	16,277								16,759
必要性	「2050年ゼロ・カーボンシティ」の実現に向けて、市域における温室効果ガス排出削減の取組及び円滑な再生可能エネルギーの導入を促進するため、所要額を追加するもの。		主な財源	国補 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 16,277							
事業概要	○脱炭素社会構築・気候変動適応に向けた意識啓発経費 212千円 市民を対象とした脱炭素化、気候変動適応に向けた意識醸成及び行動変容を促すためのワークショップを開催する。（2回、8月・12月予定）										
	○公共施設照明LED化事業（久美浜庁舎） 32,824千円 省エネルギー化推進のための調光制御機能を有するLEDに改修 ・設計監理委託料 4,081千円 ・工事請負費 28,743千円 （久美浜市民局、久美浜地域公民館、会議室等）										

予算科目	款	04 衛生費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	市民環境部	
	項	02 清掃費	2,420千円		480,206千円		482,626千円				
	目	02 塵芥処理費									
	事業	02 峰山クリーンセンター管理運営事業							国庫支出金	府支出金	市債
総合計画 計画項目	07 ごみの削減と再資源化の推進									2,420	
必要性	峰山クリーンセンター4号炉の排ガス減温用送風機において、不具合が発生していることが判明したため、所要額を追加するもの。		主な財源								
事業概要	○工事請負費 ・4号炉排ガス減温用送風機更新		2,420千円								

予算科目	款	04 衛生費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	市民環境部	
	項	02 清掃費	10,114千円		0千円		10,114千円			課	生活環境課
	目	02 塵芥処理費									
	事業	09 一般廃棄物焼却施設整備事業									
総合計画 計画項目			07 ごみの削減と再資源化の推進	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源		
									10,114		
必要性	次期一般廃棄物処理施設の整備候補地の選定に向け、有識者から助言等を受け、また、候補地選定のための地質調査を実施するため、所要額を追加するもの。			主な財源							
事業概要	○アドバイザー経費（大学教授1人・3回） ・謝金、費用弁償			81千円							
	○アドバイザー協議に係る旅費等 ・普通旅費、有料道路使用料、駐車場使用料			33千円							
	○地質調査業務 候補地地質の状態を把握し、候補地選定の検討材料とするため実施			10,000千円							

予算科目	款	04 衛生費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	市民環境部	
	項	02 清掃費	98千円		239,514千円		239,612千円			課	生活環境課
	目	03 し尿処理費									
	事業	02 し尿収集事業									
			国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源			
総合計画 計画項目			07 ごみの削減と再資源化の推進								98
必要性	市内産バイオディーゼル燃料（BDF）の率先導入をすることにより、エネルギーの地産地消を推進し、温室効果ガスの排出削減によるカーボンニュートラルの達成に向けた市域全体の意識醸成を図るため、所要額を追加するもの。		主な財源								
事業概要	○燃料費 市内で回収した使用済み食用油から市内で精製したバイオディーゼル燃料（BDF）を使用する。 し尿収集車両（2台） ※丹後町域の小・中学校のスクールバスも導入予定 ＜参考＞ 使用済み食用油の回収状況 回収場所：地区、学校、保育所、市庁舎、飲食店等（364か所） 回収量：約77,000ℓ（令和5年度実績）		98千円								

令和6年度 一般会計補正予算（第1号）

消防本部 主要事業説明資料

予算科目	款	09 消防費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	消防本部	
	項	01 消防費	50,110千円		33,216千円		83,326千円			課	総務課
	目	02 非常備消防費									
	事業	03 団員退職報償金									
			国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源			
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実							50,110		0	
必要性	令和6年3月末で5年以上在職して退職した消防団員に対し、退職報償金を支給するため、所要額を追加するもの。		主な財源	諸収入 消防団員退職報償金 50,110							
事業概要	○消防団員退職報償金（116人） 50,110千円										
	区 分		人 数		退 職 報 償 金						
	副 団 長		3人		1,602千円						
	分 団 長		15人		8,359千円						
	副 分 団 長		7人		3,497千円						
	部長・班長		63人		29,100千円						
	団 員		28人		7,552千円						
	合 計		116人		50,110千円						
	※「区分」は退職報償金の支給基礎となる階級区分										